資料１

子育て支援に関するアンケート調査結果（抜粋）

健康福祉部児童福祉課

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

「第２期たつの市子ども・子育て支援事業計画」の策定に当たり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握するため、調査を実施するものです。

２　調査対象

たつの市在住の就学前又は小学校１～３年生のお子さんのおられる家庭

３　調査期間

平成 31 年１月 16 日から平成 31 年１月 25 日

４　調査方法

市内の保育所（園)、幼稚園、認定こども園、小学校、子育てつどいの広場等を通じた配布・回収

５　回収状況

	配　布　数	有効回答数	有効回答率
就学前児童または 小学生のいる家庭	2,000 通	1,810 通	90.5%

６　調査項目

（１）お住まいの地域について
（２）宛名のお子さんとご家族の状況について
（３）子どもの育ちをめぐる環境について
（４）宛名のお子さんの保護者の就労状況について
（５）宛名のお子さんの平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況に ついて
（６）宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について
（７）宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
（８）宛名のお子さんの病気の際の対応について
（９）宛名のお子さんの「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
（10）宛名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について
（11）すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

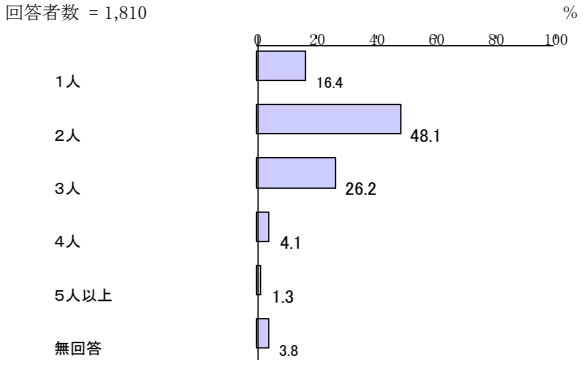
※　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　　で網かけをしています。（無回答を除く）
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。

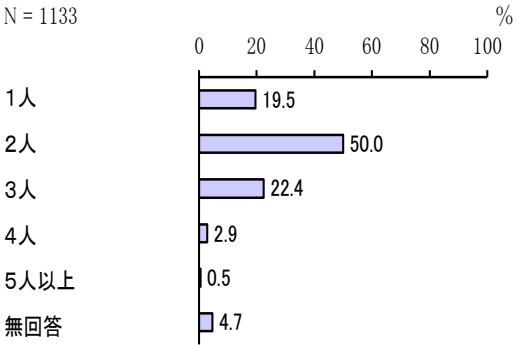
Ⅱ　主な集計結果

（２）宛名のお子さんとご家族の状況について

問３　宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。

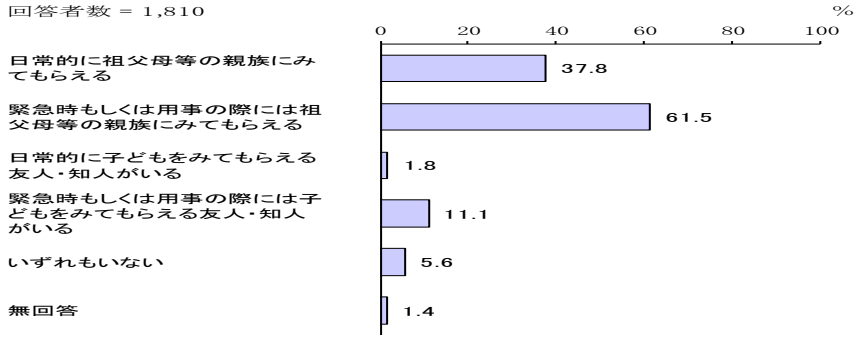


【参考】平成 25 年

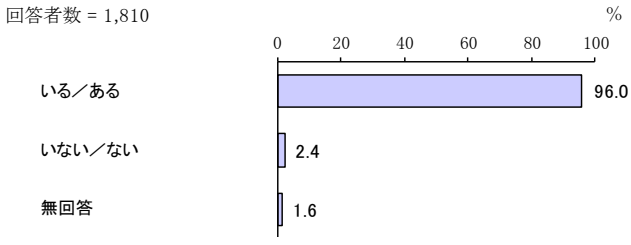


（３）子どもの育ちをめぐる環境について

問９　日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（当てはまるものすべてに○）



問 10　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所はありますか。（１つに○）



区分	有効回答数（件）	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て応援センターすくすく	子育て支援施設（子育てつどいの広場、	保健所・健康課（保健センター等）	保育士・幼稚園教諭・保育教諭	小学校教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	たつの市行政窓口	スクール・カウンセラー	その他	無回答
就学前	931	86.4	78.0	8.1	1.8	11.9	3.7	47.4	0.4	0.4	5.7	0.1	0.2	2.7	0.2
小学生	787	80.2	80.4	11.3	0.6	2.8	0.9	2.5	31.1	0.1	6.5	0.1	1.0	3.3	0.5

（４）宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 12　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【母親】

区分	有効回答数（件）	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
就学前	956	27.9	5.4	41.0	2.3	21.2	1.6	0.5
小学生	824	28.9	1.8	47.2	0.6	18.2	2.5	0.7

【父親】

区分	有効回答数（件）	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労しており、育休・介護休業中ではない	フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労しているが、育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
就学前	902	91.7	0.4	0.1	－	0.7	0.2	6.9
小学生	747	90.2	0.1	0.4	0.1	0.7	－	8.4

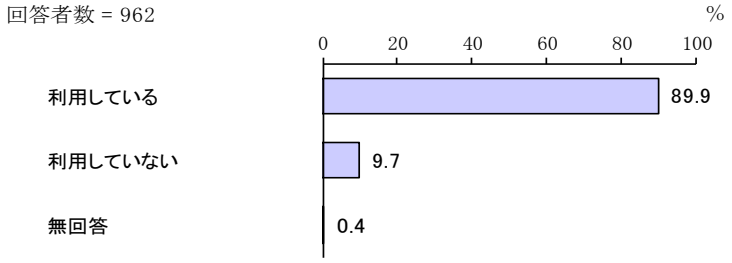
問 13　問 12 で「パート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。（１つに○）

【母親】

区分	有効回答数（件）	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	フルタイム以外（パート・アルバイト等）の就労を続けることを希望	フルタイム以外（パート・アルバイト等）の就労をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
就学前	414	10.6	21.5	54.3	3.6	9.9
小学生	394	7.4	22.3	60.7	2.8	6.9

（５）宛名のお子さんの平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について

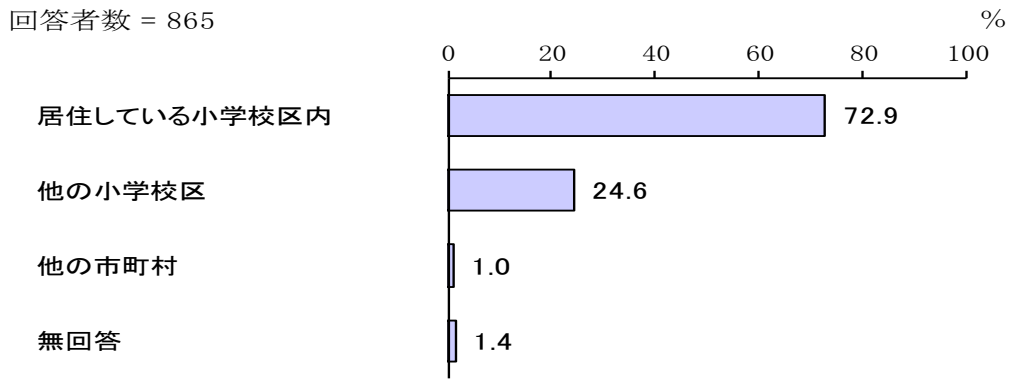
問 15　宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。（１つに○）



問 15－１　宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

区分	有効回答数（件）	幼稚園	認可保育所	認定こども園	認定こども園の預かり保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	小規模な保育施設	家庭的保育	自治体の認証・認定保育施設	居宅訪問型保育	その他	無回答
0歳	35	－	45.7	51.4	－	2.9	－	－	2.9	－	－	－	－	－
1歳	65	－	53.8	46.2	1.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2歳	93	－	45.2	51.6	3.2	1.1	3.2	－	－	－	－	－	2.2	－
3歳	136	－	45.6	54.4	1.5	0.7	－	－	－	－	－	－	－	－
4歳	252	25.0	30.6	42.5	1.6	0.4	1.6	－	－	－	－	－	0.8	0.8
5歳	284	23.2	30.6	44.7	2.5	0.4	0.4	0.4	0.4	－	－	－	0.4	0.4

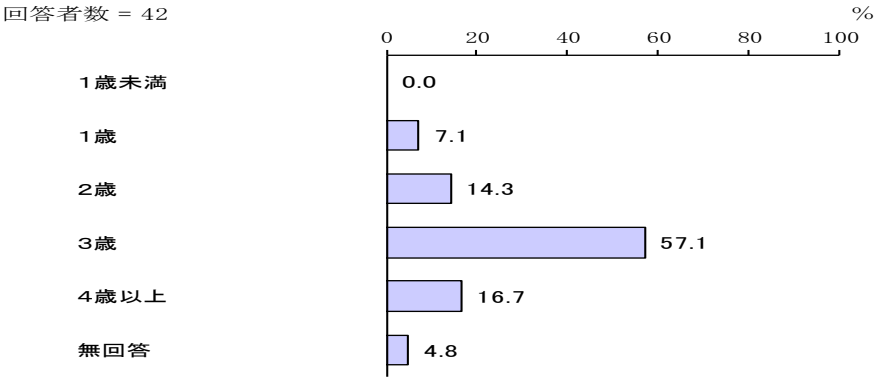
問 15－３　現在、利用している教育・保育事業の実施場所をお答えください。（１つに○）



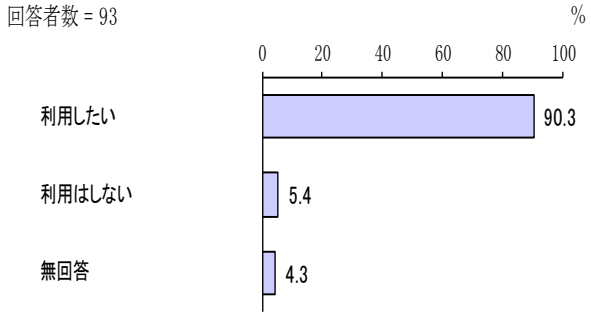
問 15－５　問 15 で「２．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

区分	有効回答数（件）	（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、教育・保育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため（　）歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
0歳	29	62.1	－	－	3.4	3.4	－	－	65.5	13.8	－
1歳	21	57.1	－	－	4.8	4.8	－	4.8	57.1	4.8	4.8
2歳	21	71.4	9.5	－	4.8	14.3	－	－	42.9	14.3	4.8
3歳	18	55.6	11.1	－	33.3	－	－	－	11.1	16.7	11.1
4歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5歳	4	－	25.0	－	－	－	－	－	－	－	75.0

【利用を希望する子どもの年齢】



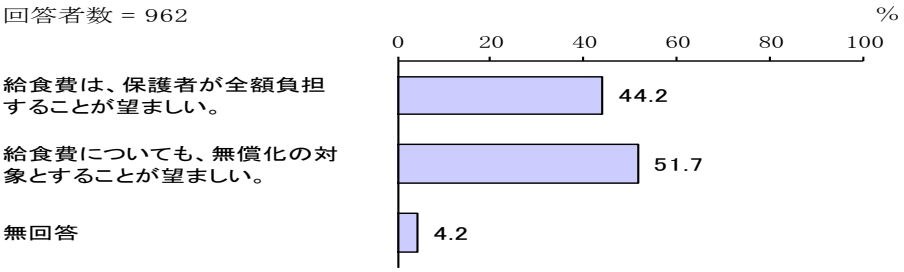
問 15－６　問 15 で「２．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。国は、2019 年 10 月から３歳以上の子どもの幼稚園・保育所・認定こども園等の利用者負担額（保育料）の無償化を予定していますが、利用者負担額が無償化になることにより、教育・保育事業を新たに利用したいと考えますか。（１つに○）



区分	有効回答数（件）	利用したい	利用はしない	無回答
0歳	29	86.2	10.3	3.4
1歳	21	100.0	－	－
2歳	21	90.5	－	9.5
3歳	18	94.4	5.6	－
4歳	－	－	－	－
5歳	4	50.0	25.0	25.0

【子どもの年齢別】

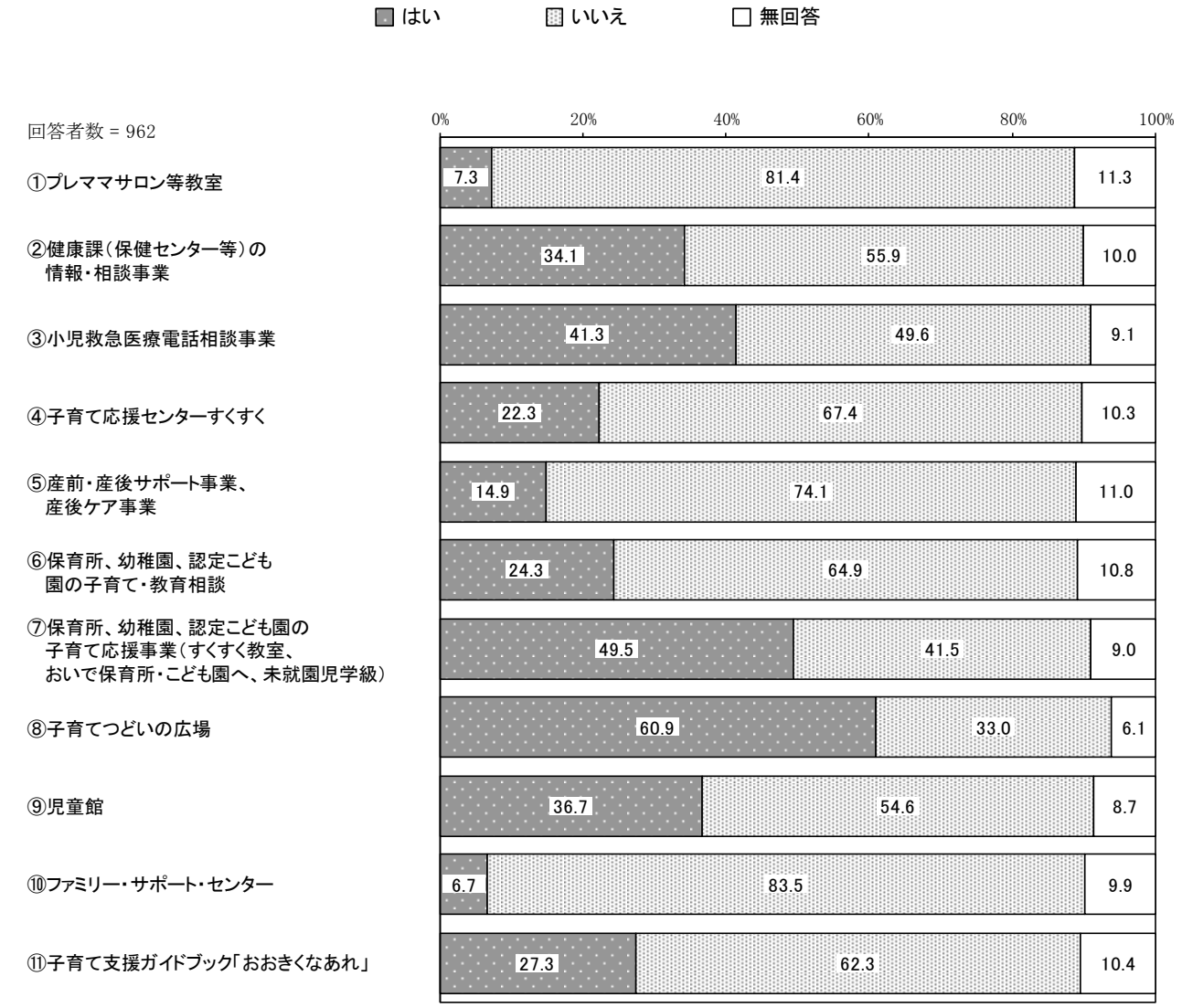
問 15－７　すべての方にうかがいます。国は、２０１９年１０月から３歳以上の子どもの幼稚園・保育所・認定こども園等の利用者負担額（保育料）の無償化を予定していますが、給食費の実費相当分はこれまでどおり保護者の負担とする方針を示しています。給食費についてどのようにお考えですか。（１つに○）



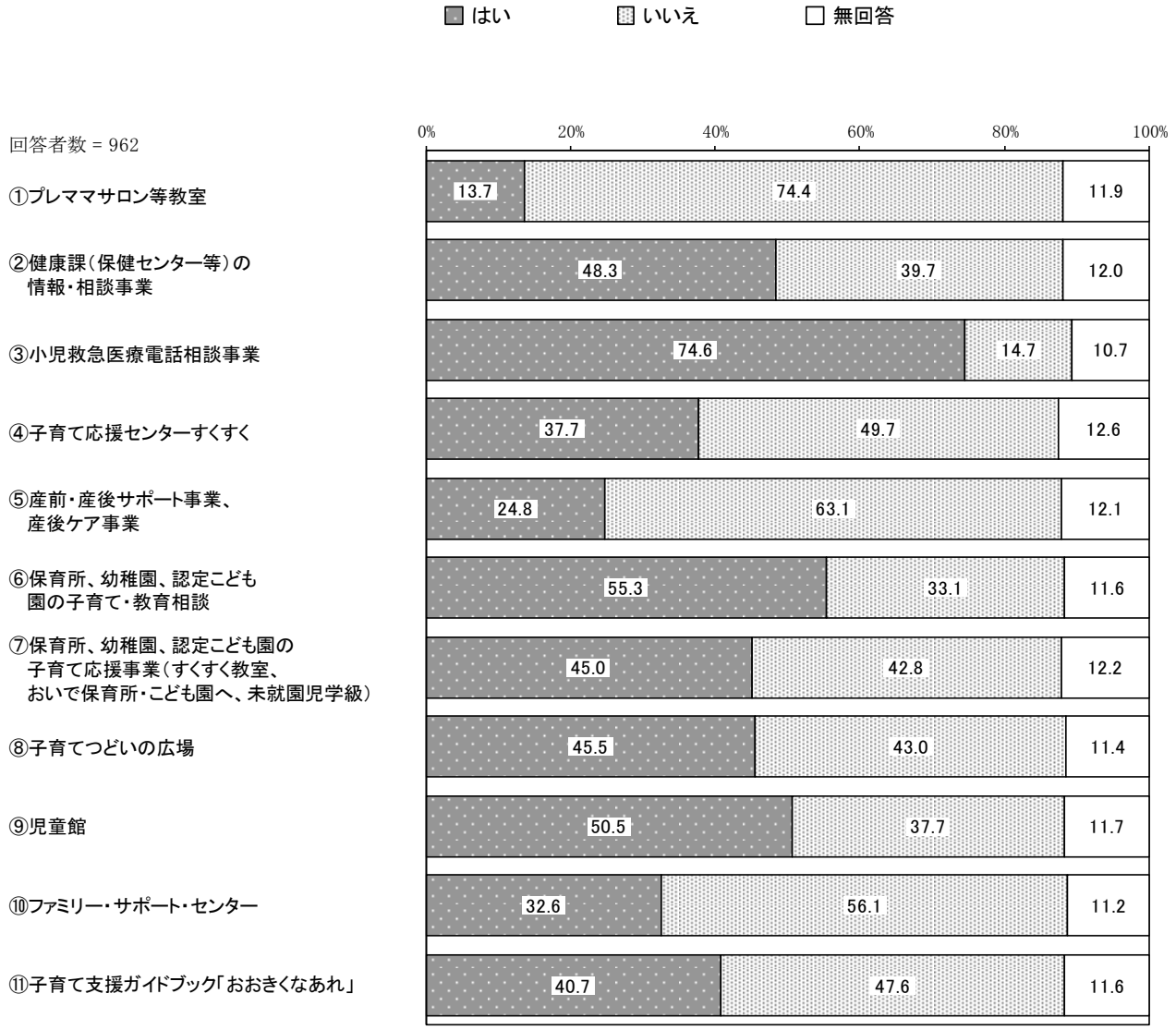
（６）宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 19　下記の事業でこれまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

【これまでに利用したことがある】



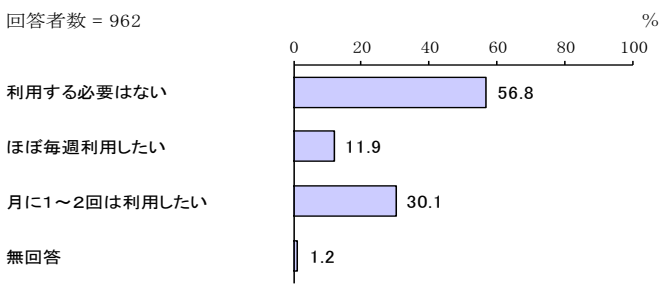
【今後利用したい】



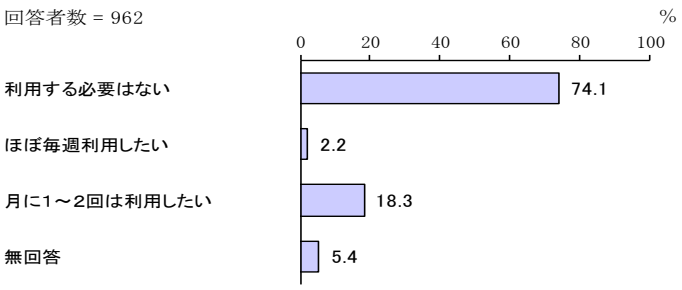
（７）宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

ア．土曜日



イ．日曜・祝日

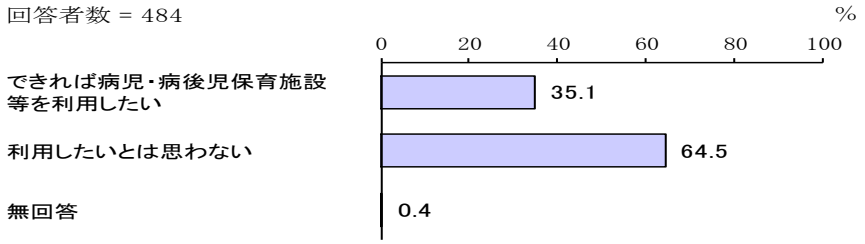


（８）宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 22－１　定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方に伺います。宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この１年間にどのように対処されましたか。当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　）内に数字でご記入ください。半日程度の対応の場合も１日と数えてください。

区分	回答者数（件）	1日	2日	3日	4日	5日	6日～10日	11日～20日	21日以上	無回答
ア　父親が仕事を休んだ	126	32.5	27.8	13.5	3.2	12.7	4.8	0.8	0.8	4.0
イ　母親が仕事を休んだ	466	9.4	13.9	11.6	6.4	16.5	21.9	9.0	2.4	8.8
ウ　（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	296	15.5	23.0	14.2	6.8	12.8	16.2	4.4	1.0	6.1
エ　父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	134	17.2	13.4	10.4	11.2	9.0	24.6	6.0	1.5	6.7
オ　病児・病後児の保育を利用した	13	38.5	46.2	7.7	-	-	-	-	7.7	-
カ　ベビーシッターを利用した	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
キ　ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ク　仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0
ケ　その他	18	11.1	5.6	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	-	5.6

問 22－２　問 22－１で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についても（　）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

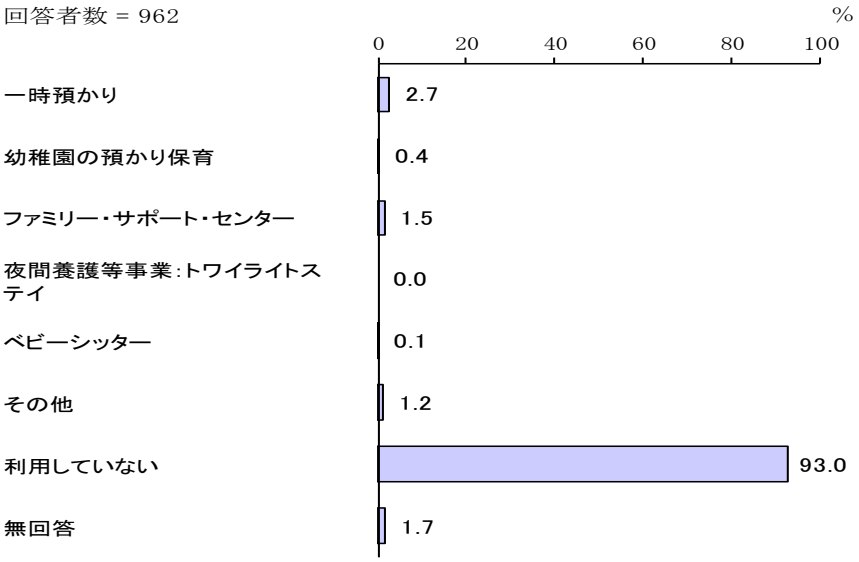
「５日」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「６日～10 日」の割合が 26.5%となっています

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

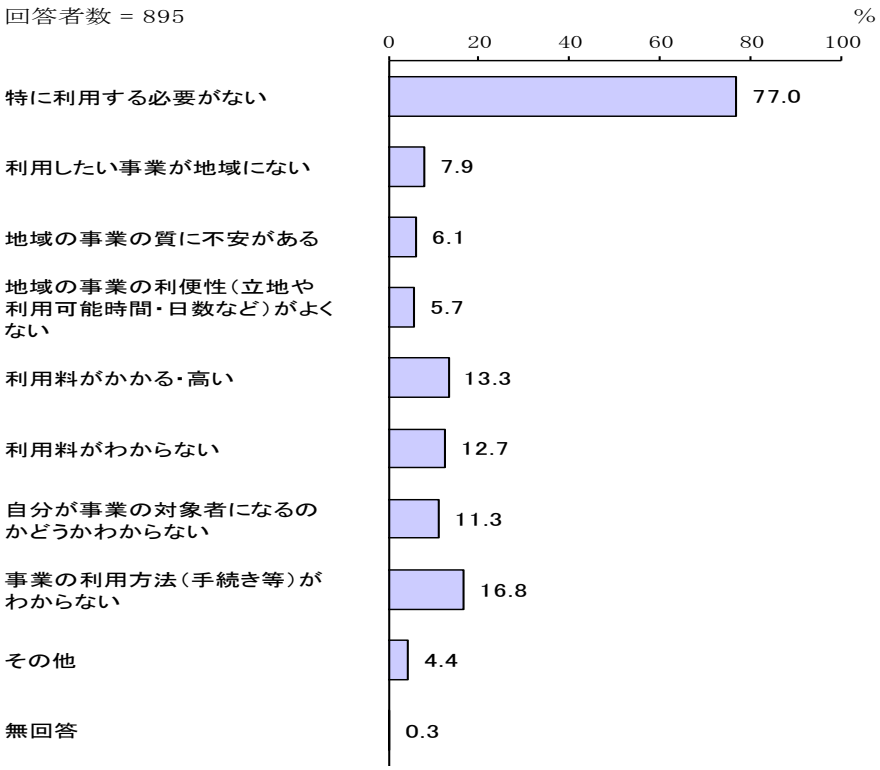
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が 59.0%、「利用料がかかる・高い」の割合が 21.8%となっています

（９）宛名のお子さんの「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23　宛名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

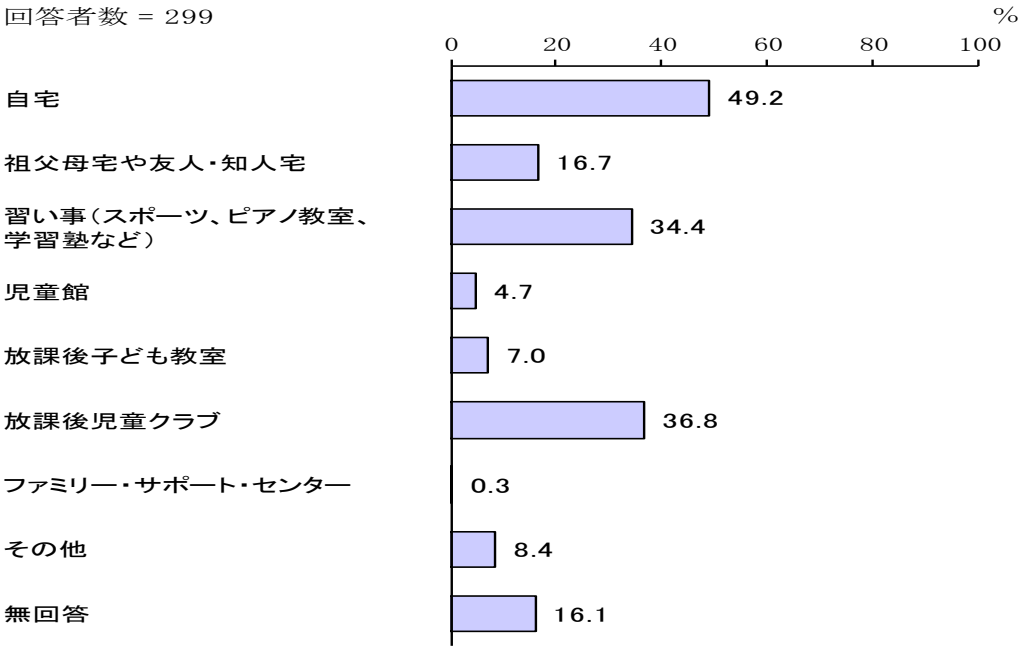


問 23－１　問 23 で「７．利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

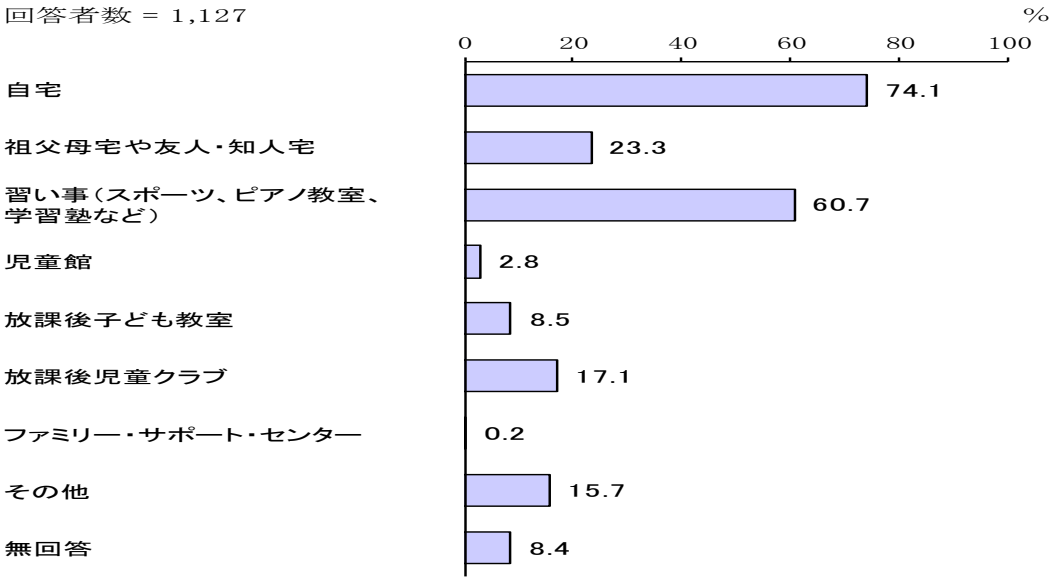


(10) 宛名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26　宛名のお子さんが小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（　）内に 24 時間制でご記入ください。

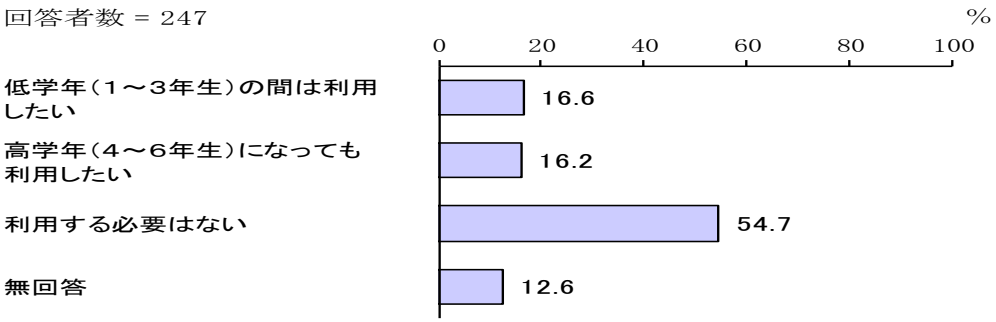


問 27　宛名のお子さんが小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（　）内に 24 時間制でご記入ください。

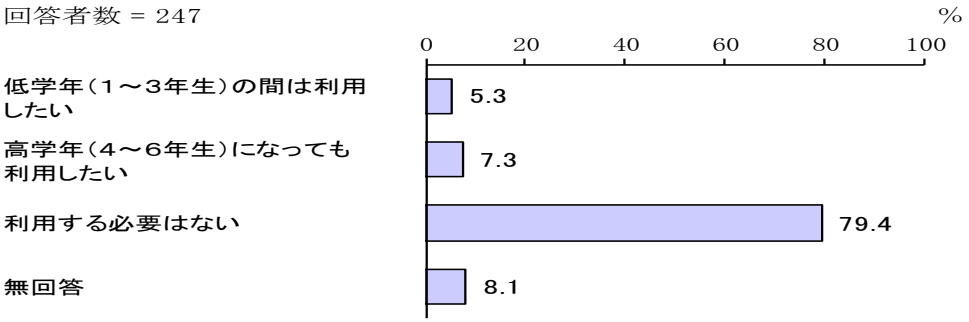


問 28　問 26 または問 27 で「６．放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。ただし、就労等により保育が出来ない場合に限ります。（レジャーや買い物等によるものは、利用できません。）事業の利用には、一定の利用料がかかります。

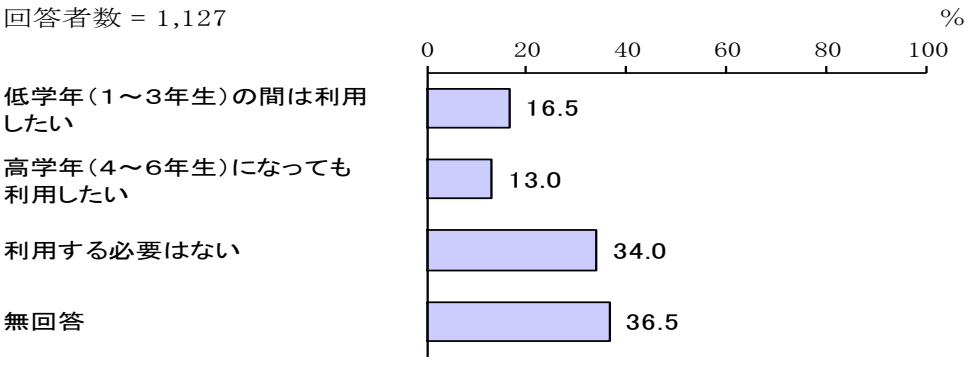
（1）土曜日



（2）日曜・祝日



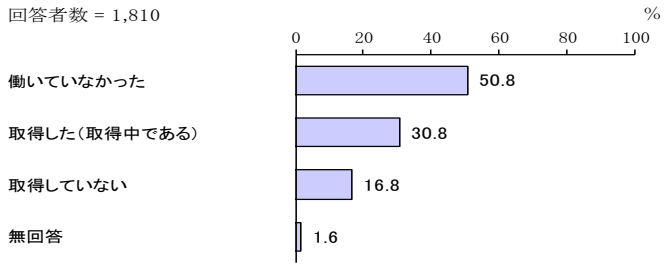
問 29　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。



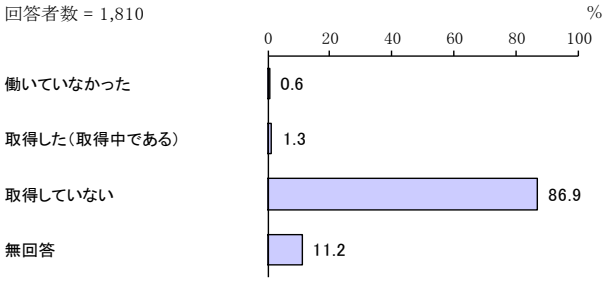
（11）すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 30　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。「３．取得していない」を選んだ方はその理由を選択し番号をご記入ください。

ア．母親



イ．父親



取得していない理由

ア．母親

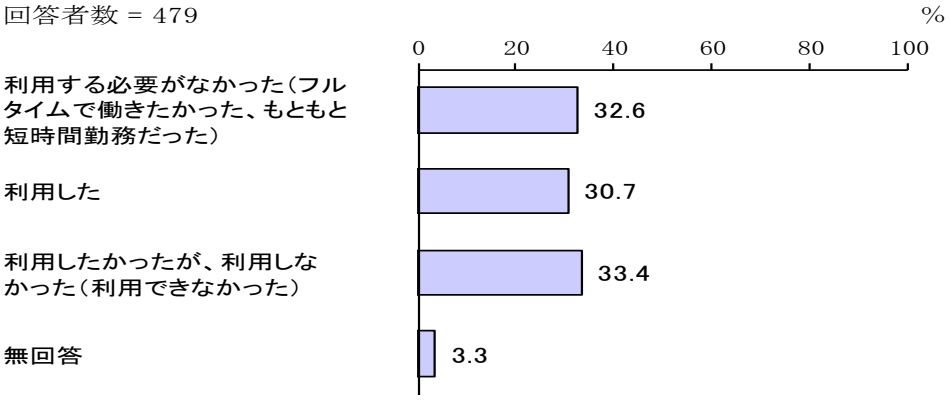
区分	有効回答数（件）	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所・認定こども園などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	育児休業を取得できることを知らなかった	産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した	その他	無回答
就学前	162	10.5	5.6	4.3	6.8	－	6.2	－	－	3.1	39.5	19.1	4.3	1.2	2.5	12.3	21.6
小学生	140	9.3	7.1	4.3	7.9	0.7	10.0	5.0	－	3.6	40.0	15.7	2.1	2.9	2.1	12.9	17.1

イ．父親

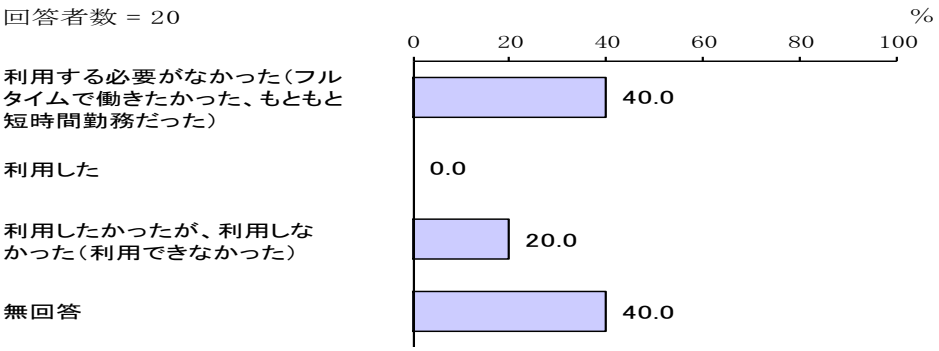
区分	有効回答数（件）	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所・認定こども園などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	育児休業を取得できることを知らなかった	産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した	その他	無回答
就学前	839	28.6	32.8	0.2	3.7	5.4	26.8	1.2	26.5	34.7	0.1	10.3	－	2.0	－	5.2	9.3
小学生	717	23.0	29.3	0.7	2.9	3.9	25.7	1.8	18.1	37.5	0.6	12.6	0.4	2.9	－	6.4	8.6

問 30－７　問 30－２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1 つに○)

ア．母親



イ．父親



問 31　お住まいの地域（小学校区）における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号１つに○をつけてください。

満足度が低い ←――→ 満足度が高い

区分	有効回答数（件）	1	2	3	4	5	無回答
就学前	962	6.5	15.1	45.7	25.5	4.6	2.6
小学生	828	5.1	15.9	46.3	24.0	5.6	3.1